

6月19日：VN指数は続落

月曜日は先週からの弱気な姿勢が継続し、国内、海外投資家ともリスク回避姿勢を強めたため続落した。

ホーチミン市場のVN指数は9.82ポイント安の1,105.4ポイント(-0.88%)で引けた。同指数は4日続落した。

下落銘柄の数が上昇銘柄の数を上回り、市場はマイナス圏で推移した。ホーチミン市場では233銘柄が下落したのに対し、95銘柄が上昇した。

ホーチミン市場では流動性も急減し、売買代金は前営業日から36%減少し14.3兆ドン(6億8百万ドル)だった。出来高も33.3%減少し、8億11百万株だった。

VN指数は大型株の下落に引きずられた。ホーチミン市場の大型株30銘柄で構成されるVN30指数は、10.12ポイント安の1,098.94ポイント(-0.91%)だった。

VN30銘柄のうち、10銘柄が上昇、18銘柄が下落、2銘柄が変わらずだった。

ベトコムバンク(VCB)の下落が大きく、市場全体にのしかかった。同銘柄は3.14%下落した。

他の大型金融株にも売りが波及し、テックコムバンク(TCB)が1.38%、BIDV銀行(BID)が1%、MBバンク(MBB)が0.76%、VNダイレクト証券(VND)が1.03%下落するなどした。

また不動産や製造業にも幅広く売りが波及した。

ビンググループ関連の3銘柄のうち、ビンググループ(VIC)とビンホームズ(VHM)がそれぞれ2.62%、1.75%下落した。また不動産デベロッパーのノブランド(NVL)も6.04%の大幅安となった。

さらにマサングループ(MSN)、Gelexグループ(GEX)、ホアセングループ(HSG)、ナムキムグループ(NKG)なども週初から1.5%超の下落となった。

同様にハノイ取引所も売りが優勢で、HNX指数は1.92ポイント安の226.52ポイント(-0.84%)で引けた。

ホーチミン市場では外国人投資家が売り越したことも下落圧力となった。外国人投資家はホーチミン市場で 1,044 億ドンを売り越したが、ハノイ市場では 48.3 億ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。